

EVENT INFORMATION

全日 キッチンカー出店
場所/東側競走水面 開門~20:00

3/24(水)
オープニングセレモニー&
ドリーム戦出場選手インタビュー
場所/1Fセンターコート 13:20頃~

3/25(木)
GAMAGORI MUSIC FESTIVAL
~CLASSIC MIX~
場所/1Fセンターコート SEAMO マーチ・フリードマン
①13:40頃~ (OPなのはな) ②13:55頃~ (マーチ・フリードマン)
③14:15頃~ (はるのまい) ④16:36頃~ (COOL-X)
⑤17:06頃~ (SEAMO) ヒア/伴奏:なのはな

3/28(土)
赤岩善生
トークショー
場所/1Fセンターコート 13:50頃~
- 赤岩 善生 -

3/26(木)
SKE48 SPECIAL
トークショー
太田彩夏 大村杏 河村優愛
場所/1Fセンターコート 13:45頃~
クラシック出場選手
グッズ抽選会
場所/1Fセンターコート 4R~10R

3/27(金)
ボンドレスクラシック アゲアゲ↑
お笑いNIGHT
場所/1Fセンターコート
①13:38頃~ (2③④出演3組) ②16:36頃~ (いつもここから)
③17:36頃~ (土佐兄弟) ④18:38頃~ (ばーてぃーちゃん)
いつもここから 土佐兄弟 ばーてぃーちゃん

3/29(日)
福留光帆
トークショー
8-10Rは2マーク側の新スタジオから
"公開生放送"でガマステに出演!
場所/1Fセンターコート 17:05頃~
- 福留 光帆 -
2026ボートレースCMキャラクター
生瀬勝久
トークショー
場所/1Fセンターコート 18:04頃~
- 生瀬 勝久 -
表彰セレモニー
場所/1Fセンターコート 12R終了後
マフラータオル
抽選会
開門~12R発売締切
場所/ボートステーション前

SG第61回ボートレースクラシック開催中の期間

※イベントの時間・内容は変更となる場合がございます。HPにて最新の情報をご確認ください。
※グッズや景品はなくなり次第終了となります。あらかじめご了承ください。グッズはイメージです。実物とは異なる場合があります。

YouTubeにてライブ配信予定! 配信時間: 第1Rスタート展示10分前(14時25分頃)~第12R終了後
※日程・内容は変更となる場合がございます。

<p>3/24 TUE JANBARI TV</p> <p>夫婦漫才</p> <p>出演: 木村魚拓/七瀬静香/ayasi</p>	<p>3/25 WED</p> <p>出演: シモリュウ</p>	<p>3/26 THU 5チャンネル</p> <p>トリシューパング</p> <p>出演: ういち/しんのすけ/ウシオ/</p>	<p>3/27 FRI ボートレース蒲郡 公式YouTubeチャンネル</p> <p>ガマ騒ぎ</p> <p>出演: 二瓶有加/マリブ鈴木/石川こども</p>
<p>3/28 SAT DMM 蒲郡競艇場</p> <p>出演: イッチー/くり/マリブ鈴木/ジャスティン翔</p>	<p>3/29 SUN DMM 蒲郡競艇場</p> <p>出演: イッチー/くり/マリブ鈴木/タックタック</p>	<p>3/24 TUE ~ 29 SUN</p> <p>3/29(日) 8レースから10レース スペシャルゲスト 福留光帆 公開生出演決定!</p> <p>出演: 熊二郎/今野克哉/ちゅーべい/池山智瑛/落合菜月/中山結稀</p>	<p>ガマステ サードレーン</p> <p>QRコード</p>

会員限定 BOATRACE CLASSIC 特別キャンペーン
ギフトカードや蒲郡特産品を抽選でプレゼント!
キャンペーン詳細

指定席前売は3/5(木)~チケットぴあにて先行販売開始。3/12(木)~本場指定席売り場及び電話で販売開始 詳細はBR蒲郡のHPで

詳細は <https://www.gamagori-kyotei.com> ボートレース蒲郡 検索

THE WINNER OF "FIVE LARGEST SG RACES"
GRANDES

DYNAMITE BOAT RACE

つかめ、至高の

61st ボートレースクラシック
BOATRACE CLASSIC
3/24 TUE 25 WED 26 THU 27 FRI 28 SAT 29 SUN BOATRACE 蒲郡
開門時間 初日 ▶ 13:00 (2日目以降 13:30) 第1Rスタート展示 ▶ 14:35 第12R発売締切 ▶ 20:40
全国のボートレース場・ボートレースチケットショップ(場外舟券発売場)等において発売

BOAT RACE 振興会 協賛 テレビ愛知 DMM.com 東海テレビ GRAMPUS ラグーナテンポス

舟券の購入は20歳以上の方にお楽しみいただけます。無理のない資金で、余裕をもってお楽しみください。



MAKOTO
ISOBE

4586

磯部 誠

◆愛知支部◆105期◆A1級

KOJI
IKEDA

3941

池田 浩二

◆愛知支部◆81期◆A1級

MASAYUKI
HIRAMOTO

4337

平本 真之

◆愛知支部◆96期◆A1級

2026 SGロード開幕！ 地元レーサーからの招待状

磯部 誠

◆生年月日：1990年9月8日◆身長：172cm◆体重：57kg◆血液型：A型◆2009年11月6日に常滑でデビュー◆通算成績1185勝、138優出42V◆SGは2023年にグラチャンを優勝。GIは20年のヤングダービーを始め5V。愛知のムードメーカー。

池田 浩二

◆生年月日：1978年4月3日◆身長：170cm◆体重：54kg◆血液型：O型◆1997年11月19日に常滑でデビュー◆通算成績2142勝、343優出102V◆2度のグランプリ制覇を含むSG11冠の金字塔。愛知の大エースとして念願の地元SGVを目指す。

平本 真之

◆生年月日：1984年5月5日◆身長：160cm◆体重：55kg◆血液型：A型◆2005年5月20日に蒲郡でデビュー◆通算成績1321勝、189優出41V◆SG3冠GI5Vの実力者。蒲郡でのグレード戦に強く66周年と昨秋の70周年で2度のGIを制覇。

竹島(国の天然記念物に指定)の前にそびえ立つ蒲郡クラシックホテルで

一足早い「SGボートレースクラシック決起会」を開催。

地元が誇る三銃士が、笑いあり、シリアスありのメンズトークで盛り上がった。

— 本日は束の間の休日の中、蒲郡市の竹島までお越しください、ありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。

一同 よろしくお祈りします。

— まず最初に蒲郡で走る機会の多いお三方ですが、ズバリ蒲郡は何番目に得意でしょうか!? その時々によって多少の変化はあると思いますが、いかがでしょうか!?

磯部 (デビュー初Vなど)ガマはいつもなんか自信を持ってエンジンが出るなっていうイメージだったけど、最近はないですね。

— 23年にSG(グラチャン)を獲られたくらいから、回転回数が少なくなりましたもんね。

磯部 う〜ん、なんか相性がいいかって言われると、今の僕なんかはそうでもないですね。

— 半分にも入っていない感じですか!?

磯部 さすがに半分よりは上ですけど、10番目ぐらいですね。

— 昨年の平本さんは調子が芳しくない中でも蒲郡では70周年記念を含む2Vを挙げました。

平本 蒲郡でしか勝てていないですからね(苦笑い)

— では蒲郡より相性がいいところはどこでしょうか!?

磯部 平本さんは芦屋ですよ。

平本 芦屋もそうだし、尼崎もそうですかね。その次の3番目かもしれないです。

— 池田さんはいかがですか!?

池田 “ベストスリー”はもう決まっています。江戸川、戸田、若松ですね(笑い)

— あ、いきなり逆から入りましたね(笑)そんなワーストスリーに入る戸田でも、昨年はグラチャンを制しました。全般的に狭いレース場は好きではないですか!?

池田 う〜ん、そうとは限らないかな。いいところを3つ出せと言われてたら、徳山、唐津、鳴門。狭いとか広いではなく相性かな。

— 確かに鳴門は狭いでもね。その3場を3連単にするとどんな順序ですか?

池田 え〜、相性で言ったら、俺、鳴門が多分一番いい。鳴門、徳山、唐津の順かな。蒲郡はその次くらいかな。

磯部 でも、浩二さんのGI初Vは蒲郡でしたしょ!?

池田 まあ、そうだったけどね。

— GI初Vと言えば、池田さんは02年に勝つまでは、なかなか記念戦線で結果を残せていなかったのですが、あの優勝から一気にSG連続優出(02年平和島ダービー④着・津チャレンジカップ②着)などで賞金を加算させグランプリにも駒を進めました。

池田 まあ、記念に呼ばれた頃は、そんなにうまくはなかったですし、そこまで目指してもなかったです。ただ、蒲郡の記念を獲ってからはボンボンときましたけどね。

平本 (4節目の5日目一般戦で)やっと取れた感じでした。GIって厳しいだろうなとは思っていましたが、痛感しました。

— GI水神祭の翌年には、蒲郡のメモリアルでSG初出場、初優出(⑥着)を果たしました。それは自信になりましたか?

平本 なったと思います。初めてのSGだったし、ちょっと自分がどこまでやれるのかっていう感じで臨みました。ただ、優出することが出来たのは良かったんですけど、今、準優とかのレース見ると、ちょっとひどいレースをしているなって思います(苦笑い)

磯部 その時に平本さんがSG優出の賞金が入ったから、ヘルメットを

買って来て(頭をペコリ)。

— いいエピソードですね。

磯部 あっ、記事にはしちゃダメですよ。ここだけの話で終わらせましょう。

一同 爆笑。

— 今年は愛知県でSGレースが2つあります。これまでボートレース記者を30年間やらせていただきましたが、こんな年はありませんでした。ちなみに、調べてみると、1980年に一度だけ、蒲郡でクラシック(当時の名称は鳳凰賞で優勝者は中本逸郎)、常滑でメモリアル(モーターボート記念:栗原孝一郎)が開催されています。なんと46年ぶりです。

平本 やっぱ気持ちは入りますよね。特に僕は去年が全然ダメだったんで。昨年はグランプリシリーズからグランプリを走っている二人を見て、やっぱそっち側に行きたいっていう思いが強かったです。そのためにもやっぱりね、地元で 2回もSGがあったら当然気持ちが入ります。これは



もう2026年は勝負の年だなんていうのは思っていました。

— それが伝わり、決死の勝負駆けを決めたのが昨秋の70周年記念優勝でした。

平本 あれは勝負駆けでしたね。メモリアル(若松)でフライングをしてしまい、グランプリへ行くことが難しくなっていたけど、本当にこれだけは獲っておかないと思って臨んだだけに、昨年一番の成功でした。

— まずは蒲郡のクラシックで勢いに乗せてSG戦線を戦いたいですよね。

平本 そうですね。常滑はチャレンジカップなので、しっかりと賞金を稼いでおかないと出られない大会ですから。それに去年がそうだったのですが、初っぱなのSGを走らないと、だぶん賞金面で置かれてしまうという感覚がありました。だからこそ、やっぱり出場することが出来ることはすごくデカイですし、それが地元ならなおさらです。

— 磯部さんもグランプリ出場3回とSGレーサーとして定着されていますが、振り返ってみていかがでしょうか!?

磯部 どうなんですかね。う〜ん、なんだろう、本当に自分で思うのは、ようやくとるなと思うんですよ。ここまでやれるとは正直思っていなかったです。ここまでの青写真は描いていなかったですからね。(選手プロフィールの出走回数を見ながら)SG出走が403(走)。浩二さんが1360、平本さんが798。ちなみに浩二さんのGIは2562で俺はちょうど1000走。まだ半分もいってないですね。

— まだまだ、これからですよ。

磯部 これはお客さんに対しては失礼になってしまうかもしれないですが、もう今はここにしがみついているのがいっぱい一杯(苦笑い)。それが目標になっちゃってる。SGに出続けるっていうのが最低ラインみたいな。だから、とりあえず権利を取っていくことに必死みたいな。



— 本音トークですね。とは言え、“現状維持”を目指すには、進化がないとその位置は守れないのではないのですか!?

磯部 なるほど。確かにプロペラに関しては常に進化だと思っています。実際にその時その時でいろいろ調整をやっているし、エンジンの整備にしても最近だったらマフラーをいじったりしています。さっきガマは仕上がりが…って話しましたが、正月はあのエンジン(13号機)で久しぶりに仕上がった感がありました。

— そういう状況の中で、愛知で2つのSGがあるってということは、発奮材料になりませんか!?

磯部 SGの開催場が発表されるのって夏前ぐらいじゃないですか。その時に何でよりによってクラシックなのかなと。その瞬間に「一般戦を5個勝たなきゃダメだな」みたいな。多分こっちの人(池田・平本)たちは記念を一個獲ればいいんだ、グランプリを優出すればいいんだってという考えの人だと思う。ただ、こっちは一般戦を5回っていう発想になってしまうのです。

— そうは言われますけど、実際には磯部さんが常滑周年を獲って地元レーサーでは一番乗りでした。目標設定が控え目じゃないですかね!?

磯部 それは思いますよ自分でも。やっぱり志が高くないと無理だというのは思います。なんか現状に満足しちゃってる。それはすごく自分でも分かっています。

— レーサーも人間ですから、そのような時期もあると思います。今は無理に回転を上げていくのではなく、自然に高まるのを待っている状況でしょうか?

磯部 上げなきゃダメなんですけどね。ただ、自分に甘えているだけです。

これはもう間違いないです。だって本当に初めてSGへ行きたいと思っていた頃とかは、もっと一生懸命にやっていたもん。体重もしっかり落としていましたもん。帰ることもしてなかった。ただ、貧乏暇なしスタイルでは勝てないことも分かりました。こっちは、そういうことを教えてもらいました。

— 次は名言シリーズです。僕も取材をさせていただいて、いろいろなお話を聞かせていただき、それぞれに印象に残るフレーズがあります。それも踏まえて、座右の銘や個々が今、思っていることなどを教えてください。

磯部 僕はもう選手になる前から「臥薪嘗胆^{がしんしょうたん}」という言葉が好きだったんですよ。それは常に思っています。

— 磯部さんらしいですよ。らしいと言えば、優出インタビュー等で過去に前付けにこられた選手に対して「お返しと返返しはしないといけないですからね」と発言して場内を沸かせていましたよね。

磯部 あれはただの「ミナミの帝王」(のフレーズ)です。僕が絶対に動かないってことは分かっているでしょうけど。

— それでは、今年もリップサービスとして、どこかでミナミの帝王シリーズが出るかもしれませんね。平本さんはいかがですか?

磯部 (少し間があったので)平本さんと言えば夢現^{むげん}でしょう。

平本 そう、夢を現実にすると言う意味で、他では湘南乃風が好きなので、歌詞とかにも出てくる言葉をよく言ったりします。「やればできる」みたいな。やたら口にしちゃいますけど、深い意味とかっていうよりは、音楽のノリとか。それに、やっぱりレース前とかは不安になることもありますからね。それ

ころが、もういつも通りじゃないみたいな感じでした。これがそういう舞台の優勝戦1号艇なんだなって、すごく感じましたね。簡単ではなかったです。

— 前田さんはデビューからこれまで2度のF2がありますけど、その都度ステップアップをされて来ました。試練を肥やしに出来るタイプではないですか!?

前田 死ぬわけじゃないし、怪我をするよりマシだなんて思うように気持ちを切り替えています。これからの方がよっぽど大事だし、選手生活はこのあと何年も続いていく訳なので…。

— 今年はGIに出場することができませんが、SGを走ることは可能です。

前田 ダービー出場は目標ですし、他のSGにも出られたら励みになります。

— その意味でも蒲郡のクラシックは大切でしょうし、現行モーターはお盆(準V)正月(優勝)と引き出されていました。調整を手の内に入れてますか!?

前田 最近はプロペラの感じが、定まってないというか、ダメな時って出てくるんですよ。クラシックまでにまだ2~3節あるので、もう一回試しながらベストな状態へ持っていきたいです。

取材日/2026年2月11日 取材地/ポートレース蒲郡

も含めて自分を奮い立たせるための合言葉みたいな感じで使っています。

— それでは池田さんの名言や思っていることはありますか?

池田 思っていることは、この職業に対して「命をかけてはダメだ」。命を大事にしなきゃ。

— 見た目以上に危ないってレースがありますか!?

池田 あるし、死んだら終わりだからね。

磯部 いくら自分が気をつけても、もらい事故ってあるじゃないですか。それにこの仕事をやっている以上、(命は)かかっていますよ。

池田 だから命をかけちゃダメ。かけるほどの(危ない)レースはしちゃダメ。— ポートレース業界としては、そこを目指していますよね。それとは別に、池田さんには10年以上前に「絶対は絶対はない!」って聞かせていただきました。僕は感同しましたし、個人的には使わせていただいています。最近では使われていますか?

磯部 あ〜、昔はよく言っていましたよね。(平本選手もうなずく)自分が「絶対」を使うようになったから、言わなくなったんじゃないですか!?

池田 使ってねぇよ。

磯部 えっ、今日も言っていましたよ。ここに来る前にゴルフをしてから来たんですけど、その時に「左は絶対あかんあ」って。

池田 あれは左へ(ボールが)行ったらOBだったから。

一同 爆笑。

池田 そういう状況の絶対はあるけど、勝負に対しては、(自分が有利な時も不利な時も)絶対はないと思っています。

— 他に“池田語録”ってありますか?

平本 あっ、この前、(吉田)裕平に言っていましたよね。

磯部 「めっちゃ」についてでしょ。

池田 裕平が「めっちゃおいしい」とかを連発するんだけど、そういうのに限って大したことがない。

一同 再び爆笑。

— 平本さんはありますか。

磯部 昔はレースからピットに帰って来た時に「クソッ」ってカウリングに手を当てながら言っていましたよね。最近では言わなくなりましたけど。

平本 悔しさがなくなってきたのかな。でも、地区選の準優(3着)は、本当に悔しかったです。

BOAT RACE GAMAGORI

Special Feature 02

HIKARU MAEDA

5068

前田 滉



◆生年月日:2000年3月17日◆身長:168cm
◆体重:52kg◆血液型:A型◆2018年11月10日に常滑でデビュー◆通算成績332勝、45優出13V◆昨年9月にヤングダービーを優勝してGI覇者の仲間入り。2026年前期適用勝率は7.59のキャリアハイをマーク。

— 本日は東海地区選手権の翌日にポートレース蒲郡の4階ラウンジにお越しくださりありがとうございます。

前田 昨夜は兄弟3人でご飯を食べて実家に泊まりました。一瞬、(取材とトークショーを)どうしようか考えましたが、二人に励ましてもらったし、明るく行こうと思ってきました。

— それでは、明るく進めましょう。前田さんはこれまで13回の優勝歴がありますが、イン逃げは5回。残りの8回は1コース以外からの優勝で、5・6コースから4回も勝っています。客観的に見てすごくないですか!?

前田 なんか持っていないと無理な感じですよ。— その中で2022年に浜名湖と常滑でそれぞれ6コース、5コースから峰竜太さんを相手に優勝を飾りました。当時、かなり話題になりましたよね。

前田 そうですね、あれは結構言ってもらえることが多かったです。今、振り返ると、そういうレースの時はやっぱり気分がいいんですよ。普段通りの気持ちで行っていることが多いです。今回のフライングもそうですが、やっぱり平常心じゃなかった。それは明らかでした。

— どの辺で平常心ではなかったと感じましたか?

前田 スタート展示が終わった後とか、心が動揺している感じ。「いつも通りに」って思い込もうとしていると

— スポーツ報知 太田和良 —



最初に栄冠を掴む者が物語を変えていく

SG戦線の幕開けを告げる「SGボートレースクラシック」が3月24日からボートレース蒲郡で始まる。今年で61回目。これは「ボートレース・ダービー」「ボートレース・メモリアル」に次いで歴史ある大会で、第3回、第4回大会をのぞいて、毎年3月に開催されてきた。出場権を獲得できるのは前年のSG覇者やGI、GIIといった特別戦優勝者、また年間優勝回数上位者とさまざまだが、実力に加え、勝負強さも兼ね備えた選手たちが6日間に渡って熱戦を繰り広げる。昨年の覇者・佐藤隆太郎もそうだったが、この大会でSG初優勝を果たす選手も目立つ。一昨年の土屋智則、3年前の遠藤エミも悲願のビッグタイトルだった。今年もここから新星が誕生するのか、注目だ。

夢を切り拓け。

総展望

シリーズをけん引するのはやはりドリーム戦選出メンバーだろう。中でも地元でのSG開催に燃えるのは池田浩二で、昨年6月の戸田グランドチャンピオンに続く、通算12回目のSG制覇を目指す。池田は昨年のSGで3優出(1V)。賞金ランキング3位の年間1億6000万円超を稼いだが、優勝戦1号艇だった11月の福岡チャレンジカップで2着に敗れ、またグランプリではトライアル2nd2回戦で選手責任の落水失格など終盤は悔しい思いも味わっただけに、期するところではある。

昨年のMVP桐生順平は安定感が光る。桐生は直近10年で9回グランプリに出場、内5回は優出(2V)とここ一番で高い集中力を発揮する。地元でも62周年記念を制すなど相性もいい。毒島誠もV候補の1人。F2による出走回数不足でB2級へ陥落してしまったが、昨年はグランプリシリーズ戦VIにGIも2優勝と変わらぬ勝負強

さを披露。SG10V中8回がナイターという夜王、は当地でも20年のチャレンジカップで優勝実績がある。

勢いも加味すれば峰電太率いる佐賀軍団が怖い存在。昨年のダービーでSG初優勝し、グランプリにも初出場した末永和也は、今年に入っても正月レースから3連続V。その中にはPGIのBBCトーナメントも含まれる。定松勇樹は今年最初のGIだった芦屋周年を勝ち、さらには2月の九州地区選も制して、今大会の出場権をつかんだ。前回の当地SG、23年のダービーで優勝したリーダー・峰はもちろんのこと、2年連続グランプリ出場の宮地元輝、前期初の勝率1位に輝いた山田康二、昨年7VでSG初出場を決めた常住蓮とタレント揃いでSGジャック、も期待できる。

昨年のSGで年間4優出した茅原悠紀は、別次元のターンでエンジンに左右されない強みがある。昨年の徳山オーシャンカップで悲願のSG初制覇をやったのけたのは西山貴浩。若松メモリアルを制した白井英治、福岡チャレンジカップでイン池田を差し切り、15年ぶり2回目のSGVを果たした山口剛も当然V候補に

名前を連ねてくる。

当地でSGV実績があるのは先に挙げた毒島、峰以外に松井繁(08年オーシャンカップ)、守田俊介(18年ダービー)、原田幸哉(21年メモリアル)の3人。一時期の不振から脱した馬場貴也は、24場制覇に残るピースはこの蒲郡を含めあと3場だ。

昨年の佐藤隆太郎もそうだったように、この大会はSG初優勝者が生まれることでも知られるが、今年大きな期待を集めるのが関浩哉。昨年終盤はSG、GIの特別戦で4連続優出、GI2Vとすさまじかった。また、グランプリファイナリストの上條暢嵩、昨年SG3優出の佐藤翼、チルト3度の伸び仕様でまくりを連発する菅章哉もチャンスは十分にある。

迎え撃つ地元勢はエース池田以外に平本真之、磯部誠、前田凨の3人がスタンバイ。平本は昨年10月の当地周年で2度目の優勝を果たして意地を見せている。当地SGで地元選手が優勝したのは92年の第27回クラシックの鈴木幸夫以来。34年ぶりの快挙なるかにも注目だ。

前年大会 クラシック アーカイブ

第60回(2025/3/30) 若松
佐藤 隆太郎(東京)



1着 1枠 佐藤 隆太郎

2着 4枠 塩田 北斗

3着 2枠 西山 貴浩

4着 5枠 宮地 元輝

5着 6枠 池田 浩二

6着 3枠 馬場 貴也

地元ビッグに燃える西山貴浩をはじめ、馬場貴也、茅原悠紀らSG常連組が順調にポイントを加算する中、予選首位通過したのは東都のホープ・佐藤隆太郎。逃げ、まくりの日またぎ連勝で滑り出すと④着の後、3、4日目も2、3コースから②着に。SG初の予選突破ながら1号艇の重圧にも負けず準優、優勝戦とも逃げ切った。全7走中と5度がトップSと、S力が光った。

DREAM RACE MEMBER ドリーム戦出場選手

2026.3.24 [Tue] 12R

※欠場等によりメンバーが変更になる場合がございます。データは2026年2月18日の情報です。

1
号艇 **末永 和也**
5084 A1 佐賀 勝率 7.84

124期の養成所チャンプが順調に成長。昨年は3月に地元初タイトルとなる唐津周年をV。10月のダービーではSG初制覇も果たし初のグランプリ出場と一気にトップレーサーに。今年もPGI・BBC優勝など1月に3連続V。その勢いはさらに加速している。

4
号艇 **池田 浩二**
3941 A1 愛知 勝率 7.92

マスターズ世代になっても衰えはまるで感じない。昨年は6月のグラチャンで優勝。クラシック、チャレンジCでも優出した。GI4回も含め昨年は計13優出、驚きは優勝戦4着以下はわずか2回だけだ。当地SGは通算4優出で優勝なし。悲願の地元SGVを狙う。

2
号艇 **毒島 誠**
4238 B2 群馬 勝率 7.08

前期は期始めの5、6月にF。出走回数不足でB2陥落を余儀なくされた。それでもグランプリシリーズ戦VやGI2勝で今大会の切符をつかんだ。クラシック14年連続出場は出場メンバー中最長。当地はチャレンジカップで優勝実績もあり、相性もいい水面だ。

5
号艇 **白井 英治**
3897 A1 山口 勝率 7.40

昨年は8月の若松SGメモリアルで優勝。直前の地元徳山オーシャンカップで予選敗退した雪辱を果たした。当地はGIで6優出1V、SGでも3優出と実績は十分。クラシックは過去15回の出場で4優出も12年の準優勝が最高なだけに、今回は美酒を味わいたい。

3
号艇 **桐生 順平**
4444 A1 埼玉 勝率 7.56

昨年は終盤まで特別戦で勝機に恵まれなかったが、GI6優出、SGで3優出とコツコツ賞金を積み重ねた。11月の地元・戸田周年Vで流れを変えるとグランプリはオール2連対V。8年ぶりの賞金王に輝いた。当地は62周年記念Vなどこれまで9優出3V。

6
号艇 **山口 剛**
4205 A1 広島 勝率 7.13

昨年は11月のチャレンジCで2コース差を決め優勝。10年クラシック以来、実に15年ぶり、2回目のSG制覇を遂げた。グランプリトライアルでのFやGI準優でのFなど手痛いS事故も多いが、それだけ勝負を挑んでいる証拠。今年もモットーの`真剣勝負、だ。

出場予定選手一覧

<p>3415</p> <p>松井 繁</p> <p>勝率 6.80 A1 大阪</p> <p>昨年11月G1IMB大賞を優勝。4年連続29回目の出場を決めた。</p> <p>MATSUI</p>	<p>3716</p> <p>石渡 鉄兵</p> <p>勝率 6.55 A1 東京</p> <p>波乗り巧者は江戸川G1にG1福岡72周年を制して7回目の出場。</p> <p>ISHIWATA</p>	<p>3721</p> <p>守田 俊介</p> <p>勝率 7.64 A1 滋賀</p> <p>蒲郡ではG154周年記念に18年SGダービー優勝と実績は十分だ。</p> <p>MORITA</p>
<p>3779</p> <p>原田 幸哉</p> <p>勝率 7.26 A1 長崎</p> <p>昨年11月の浜名湖72周年は3カドまくり。自慢のS力は今年も健在</p> <p>HARADA</p>	<p>3849</p> <p>中岡 正彦</p> <p>勝率 7.50 A1 香川</p> <p>昨年は7月以降に7Vなど通算8優勝。6年ぶりSG出場決めた。</p> <p>NAKAOKA</p>	<p>3876</p> <p>中辻 崇人</p> <p>勝率 7.73 A1 福岡</p> <p>SG出場は18年クラシック以来。伸び仕様のペラで攻撃力魅せる。</p> <p>NAKATSUJI</p>
<p>4019</p> <p>笠原 亮</p> <p>勝率 6.97 A1 静岡</p> <p>昨年は年間5優勝。当地はG12回を含む6優勝と相性も抜群だ。</p> <p>KASAHARA</p>	<p>4030</p> <p>森高一真</p> <p>勝率 6.41 A1 香川</p> <p>昨年は桐生PG1マスターズV、G15優勝の内ナイター場で4V</p> <p>MORITAKA</p>	<p>4188</p> <p>久田 敏之</p> <p>勝率 7.75 A1 群馬</p> <p>的確なSが武器。当地は20年チャレンジカップでSG初優出(3着)</p> <p>HISADA</p>

4320 — スタート》 ターン》 調整力》

PICK UP▶▶ 峰 竜太

勝率 8.00 | A1 | 佐賀

5月2日の期始めFに苦しんだ昨年だったが、11月のまるがめ周年で復活V。グランプリにも出場した。当地は23年のSGダービーで通算100Vと24場制覇を同時に達成。思い出深い水面でもある。

MIYAMA

— 4371 — スタート》 ターン》 調整力》

PICK UP▶▶ 西山 貴浩

勝率 6.84 | A1 | 福岡

去年は徳山オーシャンカップで悲願のSG初優勝。人気先行、という呪縛を解いてみせた。SG戦は皆勤、グランプリを含め3優出は立派だ。今年も水面でも丘の上でも好パフォーマンスを続ける。

NISHIYAMA

— 4456 — スタート》 ターン》 調整力》

PICK UP▶▶ 鎌倉 涼

勝率 6.89 | A1 | 大阪

去年は8月のレディースチャンピオンで優勝。デビュー19年目にして初のG1タイトルを獲得した。勢いに乗ってクイーンズクライマックスも勝ち、一昨年の遠藤エミに続き女子G1夏冬連覇を達成。

KAMAKURA

<p>4230</p> <p>濱崎 直矢</p> <p>勝率 6.51 A1 埼玉</p> <p>昨年はFが年間3本とS事故も多かったが上半期だけで6Vと量産</p> <p>HAMASAKI</p>	<p>4262</p> <p>馬場 貴也</p> <p>勝率 7.45 A1 滋賀</p> <p>上半期極度の不振も7月のびっこG1甲子園優勝が大きな転機に。</p> <p>BABA</p>	<p>4337</p> <p>平本 真之</p> <p>勝率 7.12 A1 愛知</p> <p>決していい一年ではなかったが、地元蒲郡70周年Vはせめての意地</p> <p>HIRAMOTO</p>
--	--	---

<p>4344</p> <p>新田 雄史</p> <p>勝率 7.79 A1 三重</p> <p>昨年は最多タイの年間10優勝。1号艇イン戦の信頼度もかなり高い</p> <p>NITTA</p>	<p>4361</p> <p>柳生 泰二</p> <p>勝率 7.31 A1 山口</p> <p>下関・中国地区選でG1初制覇。繰り上がりでなく自力でつかんだ。</p> <p>YAGYU</p>	<p>4370</p> <p>山口 達也</p> <p>勝率 6.99 A1 岡山</p> <p>3カド戦など攻撃は多彩。昨年6Vの内、2度はまくりで優勝した。</p> <p>YAMAGUCHI</p>
--	--	--

<p>4418</p> <p>茅原 悠紀</p> <p>勝率 7.88 A1 岡山</p> <p>昨年はSGで年間4優出、3年前は6優出。安定感ナンバーワン</p> <p>KAYAHARA</p>	<p>4427</p> <p>秦 英悟</p> <p>勝率 7.38 A1 大阪</p> <p>年間5Vで出場権を獲得。22年・大村クラシックでは優出(4着)</p> <p>HATA</p>	<p>4445</p> <p>宮地 元輝</p> <p>勝率 6.85 A1 佐賀</p> <p>昨年は1月下関70周年Vで早々と出場権獲得。グランプリにも出場</p> <p>MIYACHI</p>
---	--	--

SUGA

— 4571 — スタート》ターン》調整力》

PICK UP》 菅 章哉

勝率 6.89 | A1 | 徳島

チルトを3度に跳ねた伸び仕様で豪快まくりを連発。昨年は津周年でG1初優勝するなどG1で2Vしたが、圧巻は多摩川周年。準優は5号艇、優勝戦は2号艇ながらチルト3度で大外まくりを決めた

4450

平高 奈菜

勝率 6.08 | A2 | 香川

昨年は新設されたPGIスピードクイーンメモリアルの初代覇者に

HIRATAKA

4500

山田 康二

勝率 8.07 | A1 | 佐賀

26年前期は勝率8・07で自身初の適用勝率1位に。安定感抜群だ

YAMADA

4537

渡邊 和将

勝率 6.37 | A1 | 岡山

4カド戦の破壊力は満点。当地67周年が記念すべきG1初優勝。

WATANABE

4573

佐藤 翼

勝率 7.41 | A1 | 埼玉

昨年、一昨年とSGは2年連続3優出。SG初Vへ機は熟している

SATO

4586

磯部 誠

勝率 7.16 | A1 | 愛知

昨年は3月常滑周年を優勝して権利獲得。蒲郡も通算8Vと得意だ。

ISOBE

4590

渡邊 優美

勝率 7.47 | A1 | 福岡

昨年は年間5Vと自己最多を更新。クラシック初出場をつかんだ。

WATANABE

4682

大上 卓人

勝率 6.71 | A1 | 広島

昨年8月の三国周年で待望のG1初優勝。今年はSGでの活躍を。

OUE

4686

丸野 一樹

勝率 7.50 | A1 | 滋賀

昨年は6月のからつ2周年でG1通算9回目V。SG初優勝を狙う。

MARUNO

4732

堀本 和也

勝率 6.26 | A1 | 徳島

的確なスタートが売りで、前期平均はコマ11。徳山でG1初V。

HORIMOTO

4757

山田 祐也

勝率 6.53 | A1 | 徳島

地元・鳴門の四国地区選を制し出場権獲得。SGは通算8回目出場。

YAMADA

4762

藤原 啓史朗

勝率 7.44 | A1 | 岡山

昨年は年間優勝8回と量産。2回だった年間最高記録を大幅更新。

FUJIWARA

4832

権藤 俊光

勝率 6.86 | A1 | 大阪

近畿地区選でG13回目優出で初V。デビュー12年目のSG初出場だ。

GONDO

4848

仲谷 颯仁

勝率 7.26 | A1 | 福岡

九州地区選は準V。連覇は逃したが、年間5Vで出場権は獲得。

NAKATANI

4851

関 浩哉

勝率 7.43 | A1 | 群馬

昨年終盤はG13優出(2V)SG2優出と活躍。今年はSGVを。

SEKI

4907

小池 修平

勝率 7.36 | A1 | 大阪

昨年12月27日の三国で年間6Vを果たし権利獲得。SGは3回目。

KOIKE

4908

上田 龍星

勝率 7.36 | A1 | 大阪

昨年12月の芦屋で1分43秒7の現行出力低減モーター最高タイム。

UEDA

4939

宮之原 輝紀

勝率 7.06 | A1 | 東京

昨年8Vで出場権を獲得。クラシックは一昨年SG初優出(3着)

MIYANOHARA

4980

佐々木 完太

勝率 7.12 | A1 | 山口

昨年5月の平和島で2回目のG1制覇。今年はG1以上で活躍期待。

SASAKI

5043

中村 日向

勝率 6.77 | A1 | 香川

世代ではトップ級の存在でウエスタンヤング、ルーキー戦など6V。

NAKAMURA

5068

前田 滉

勝率 7.59 | A1 | 愛知

昨年のヤングタービーでG1初優勝。伸びはいつでも好仕上がりだ。

MAEDA

5112

砂長 知輝

勝率 6.34 | A1 | 埼玉

G15節目、初の予選突破した関東地区選で一気にV。SG初出場

SUNANAGA

5121

定松 勇樹

勝率 6.83 | A1 | 佐賀

九州地区選Vで権利獲得。1月の芦屋周年優勝など今年は絶好調だ。

SADAMATSU

5142

常住 蓮

勝率 7.44 | A1 | 佐賀

126期チャンプは昨年7Vと一気にブレイク。SG初出場決めた。

TSUNEZUMI

— 4719 — スタート》ターン》調整力》

PICK UP》 上條 暢嵩

勝率 7.41 | A1 | 大阪

今や大阪支部のエース格にまで成長。昨年は4月に地元・住之江周年、9月にびわこ周年とG12V。グランプリでも1stから勝ち上がり、2ndはすべて外(4~6)枠ながらもファイナル入り。

OGIWARA

浦郡水面を攻略 徹底

春の風を読み切った者がレースを制す!

浦郡は選手間ではスタートが難しいレース場と言われている。特に春は風向が定まらず、どこから風が吹いているのかが分かりづらい。そこで、昨年の同時期(2025年3月14日~4月7日までの6日制×3節・合計216レース)を振り返ってみた。真向かいの位置は南西でその両サイドとなる西と南も向かい風となる。対照的に追い風は、北東をベースに東と北。横風は北西が右横風で南東が左横風だ。

POINT 01 ピットではレース前の調整が入念に行われている



建物の高さは2階建て。風よけとしての効果はそこまでではないが、この時期は追い風や左横風が強くなるのが少ない。4m以上だったのは、昨年同時期でたった1回だった。

3月は風向きを要チェック

無風 3.7%
8回

追い風 13.0%
3m以下27回、4m以上1回

POINT 02 ピットからは126m。コース争いが白熱することも



発走ピットから2マークまでの距離は126m。これは全国で6番目の長さでコースが入れ替わるシーンもしばしば見かける。過去にもメモリアルで今垣光太郎、周年で井口佳典がイン奪取からVを飾っている。

POINT 03 NEW スタンドの増設により風をガッチリとガード



クラシックまでには完成予定。ちょうど2マークの目の前から200m位置までの約50mに建てられた。北西からの風をしっかりとブロックしてくれており、2マークのスピード感が増した。

POINT 05 1マークの奥行きは全国で一番広い!

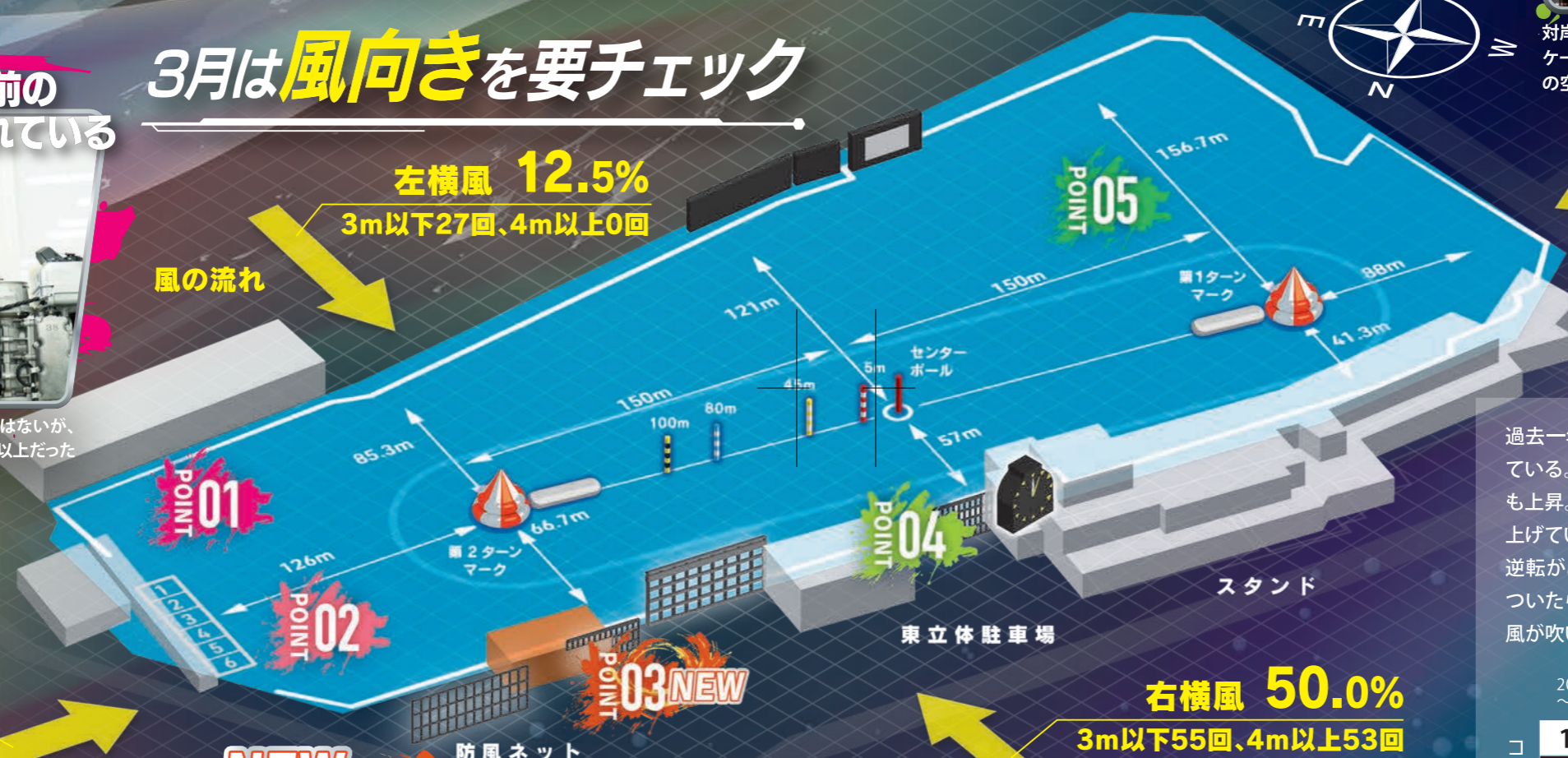


1マークから対岸までの長さはなんと156.7m。全国一の広さを誇りスピードとエンジンパワーを思う存分に出し切れる。また、昨年同時期の216レース中、風速3m以下だったのが約7割と静水面率が高いのも特徴だ。

POINT 04 横風になるとスタートが難しくなりスリットに凹凸も



対岸から風が吹くとメインスタンドにぶつかって風向が定まらないケースがある。内コースと外コースで風向きが違ったり、80mと5mの空中線が反対だったりして選手を悩ませる。



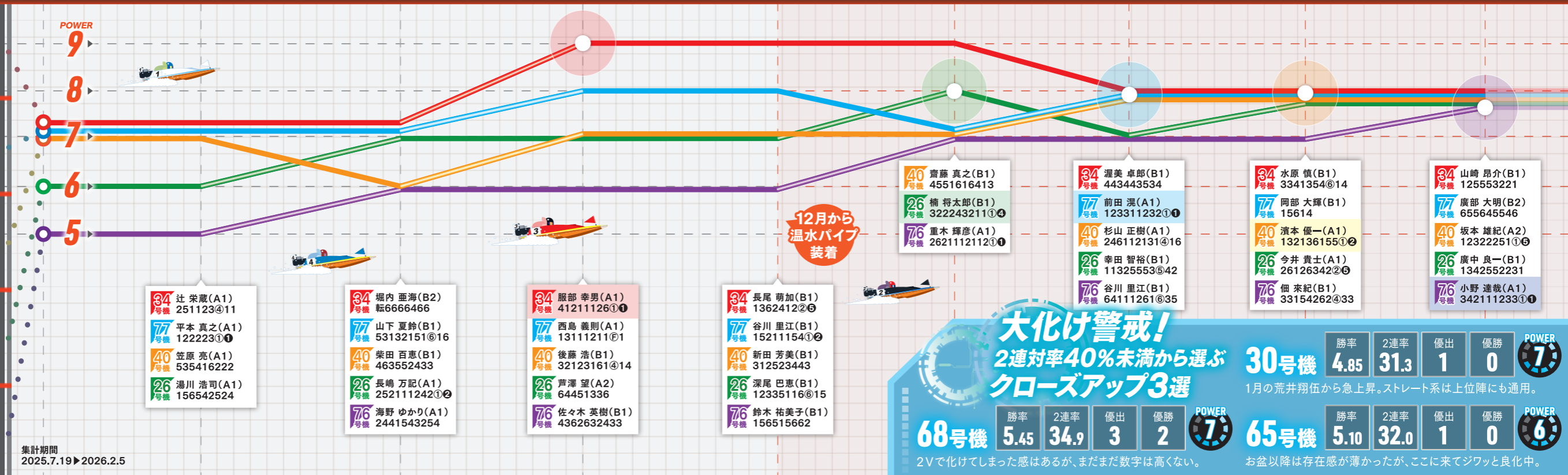
過去一年間のコース別入着率は、1コースの1着率に変化が生じている。2年前の同時期は53.7%だったが、この一年間で4%近くも上昇。全国での比較も当時の17番目から現在は8番目まで押し上げている。逆転があるなら2~4コース。ざっくりではあるが、水面がボチャついたら2コース差し、静水面なら3コースのまくり差し、向かい風が吹いたら4カド戦が有効だ。

コース別入着率	2025.1.31 ~ 2026.2.5	1着	2着	3着	4着	5着	6着
1コース	57.6	15.9	9.4	5.5	6.1	4.5	
2コース	12.2	25.1	18.0	16.9	14.7	12.0	
3コース	12.1	23.3	21.1	17.9	14.4	10.2	
4コース	11.1	18.4	21.6	18.9	15.2	13.7	
5コース	5.5	12.7	18.7	23.0	22.9	16.0	
6コース	1.5	4.7	11.3	17.6	25.7	37.5	

番記者からの総括

春到来と言っても、この時期はまだまだ肌寒い日が多く北西からの右横風がちょうど半分を占める。この冬のレースを見ていると、外では風がビュービューに吹いていても、スタンドや防風ネットの効果で水面はガードされていた。これは東側新スタンド(PPOINT3)の効果が大いと思われる。ただ、北西の風が4m以上になると、1マーク、2マークへ外側から風が巻き込んでくることもあり、水面がフワフワしてスピードターンが不発になるケースが増える。向かい風になるとダッシュ勢がジワッとどぞく。まくり切れるかどうかは仕上がり次第だが、舟券に絡む確率がグッと上昇する。追い風になるとスロー勢が伸び返して内寄り同士での決着になりやすい。

HIGH
34号機
77号機
40号機
26号機
76号機



大化け警戒!
 2連対率40%未満から選ぶ
クローズアップ3選

68号機	勝率 5.45	2連率 34.9	優出 3	優勝 2	POWER 7
65号機	勝率 5.10	2連率 32.0	優出 1	優勝 0	POWER 6

2Vで化けてしまった感はあるが、まだまだ数字は高くない。
 お盆以降は存在感が薄かったが、ここに来てジワッと良化中。

地元番記者が推奨
優秀機ベスト5
 を徹底解剖!

7か月が経過も
エースモーターは不在。
上位機は群雄割拠な
状況が続く。

当地のモーターとボートは昨年7月19日のルーキーシリーズから使用され約7か月間が経過。12月1日のGIIIオールレディースから温水パイプが装着されている。これまでにエース候補は何機か挙がったが、どれも候補止まり。5機以外にも当初はトップレベルだった54号機、乗り手によってはパンチのある仕上がりになる72号機など上位拮抗。クラシックまでに4節も残しているだけに直前の変動にも注目したい。

34号機
 勝率 5.99
 2連率 45.7
 優出 3
 優勝 1
 POWER 8

エースは不在だが、それでも一番いいモーターはどれか!?と聞かれたらコレを推す。服部幸男がマスターズリーグを圧巻の仕上がりで優勝。続く長尾萌加が初優出とエース級の動きを披露していた。正月開催からは成績が伴わなくなっているが、随所に片鱗はみせている。

ベストパフォーマンス
 11/14~ GIIIマスターズリーグ
 A1 服部 幸男
 戦績 41211126①①
 ドリーム戦を4カドからまくって勢いに乗り、節間6勝でVロードを駆け抜けた。特に行き足から伸びが素晴らしい。

77号機
 勝率 5.97
 2連率 40.1
 優出 4
 優勝 2
 POWER 8

7か月間の実績ならこのモーター。お盆開催で北野輝季が出足を引き出し優出③着、周年では平本真之が優勝を飾った。その後もマスターズリーグでの西島義則や正月開催の前田滉がVと最も賞金を稼いでいる。高額レースになると真価を発揮する傾向があるのは頼もしい。

ベストパフォーマンス
 12/30~ 新春特別覇者決定戦
 A1 前田 滉
 戦績 123311232①①
 10戦7勝の西島義則と迷ったが、優勝までたどり着いていることを評価して前田滉がナンバーワン。伸び寄りで上位の次。

40号機
 勝率 5.97
 2連率 42.5
 優出 2
 優勝 0
 POWER 8

初下ろしから新ペラのままでも動いており、本体にパワーがあることは知られていた。ただ、なかなか一皮がむけず評価⑦の域を出なかったが、正月の杉山正樹が伸びを引き出してきっかけをつかんだ。続く濱本優一はGIII戦で準V、坂本雄紀も優出⑤着と結果が出始めている。

ベストパフォーマンス
 1/14~ GIII KIRIN CUP
 A1 濱本 優一
 戦績 132136155②②
 ペラは前走者の形を尊重。行き足から伸びが良く上位の一角だった。得点率は島村隆幸、石野貴之に続く3位通過で準V。

26号機
 勝率 5.45
 2連率 38.9
 優出 4
 優勝 0
 POWER 8

勝率は20番目、2連対率が15番目と数字的にはギリギリ中堅上位程度だが、秘めたるパワーは相当なもの。ヴィーナスSの長嶋万記(優出②着)から上昇カーブに転じ、楠将太郎が優出④着、古場輝義は優出③着と奮闘した。そして、GIIIの今井貴士は選手間で評判の足で優出⑥着。

ベストパフォーマンス
 12/9~ 蒲郡みかん杯
 B1 楠 将太郎
 戦績 322243211④④
 連日の好ファイトで2度目の優出。抜群のレース足で優勝戦以外はオール舟券絡み。ただし、低調機節で過大評価は禁物。

76号機
 勝率 5.81
 2連率 41.7
 優出 3
 優勝 2
 POWER 8

初下ろしからの上昇度が一番大きいのがこのモーター。土屋実沙希の⑥⑥⑥帰郷から始まり、しばらくは低空飛行。12月の蒲郡みかん杯で重木輝彦が優勝したが、低調機節で半信半疑だった。確信に変わったのは小野達哉のV。猛追ショーを披露して実戦足は素晴らしかった。

ベストパフォーマンス
 1/31~ ラグーナテンボス杯
 A1 小野 達哉
 戦績 342111233①①
 初日こそ調整の方向性をつかめなかったが、軌道修正に成功。予選終了後には「レース足は節イチ」と抜群宣言が飛び出した。

全モーター COMPLETE MOTOR DATA LIST データ一覧表



集計期間 2025.7.19 ▶ 2026.2.5

モーター No.	勝率	2連率	優出	優勝	パワー	近況
11	4.69	28.7	1	0	6	向井美鈴が優出も女子力を生かしただけの公算大
12	3.70	13.5	0	0	5	2連対率ブービーでA1の柴田光以外は予選落ち
13	5.24	37.8	1	0	6	ずっと並レベルだったが正月の磯部誠から上向く
14	4.26	21.5	0	0	6	一瀬明が低勝率節で善戦も基本的なパワーはなく
15	4.78	28.2	0	0	6	田中豪が粘り腰を発揮していたが伸びは平凡で…
16	5.14	31.0	3	0	7	毎節悪い部類には入らないが中の上が精いっぱい
17	5.40	35.6	1	0	7	上位機シリーズで坪口竜也が優出③着と良化傾向
18	5.58	43.4	3	1	7	初下ろしから3節連続で優出した貯金が大きくて
19	5.17	32.3	2	0	6	GⅢで三宅健太が優出③着もそれ以外は近況平凡
20	5.25	30.5	1	0	6	1月末に松田淳平がデビュー初優出も低調機節で
21	6.38	44.9	4	1	7	初下ろしから秋までは快調だったが近況は中の上

モーター No.	勝率	2連率	優出	優勝	パワー	近況
22	5.20	31.4	1	0	6	おっと思わせる時はあるが長続きはせず普通の域
23	3.16	11.5	0	0	4	乗り手に恵まれなかったこともあるがワーストで
24	5.26	33.3	0	0	6	A1が乗ってもギリギリ予選突破するのがやっと
25	3.54	16.6	0	0	5	馬場貴也や上平真二が乗っても苦戦でワースト級
26	5.45	38.9	4	0	8	10月に長嶋万記が立て直しその後は安定して良好
27	5.39	34.9	2	0	7	調整が合うと中の上だが合わないとき全の中堅で
28	5.10	36.1	0	0	6	ソコソコ戦っていたが星栄爾、郷原章平が凡調で
29	5.58	35.3	1	1	6	12月に桑原将光が転覆してからは明らかに下降
30	4.85	31.3	1	0	7	1月の荒井翔伍から伸びだけはずっと悪くなくて
31	5.71	38.1	2	0	7	どちらかと言えば出足寄りでレース足は悪くない
32	4.97	31.3	0	0	6	悲観する動きではないが上位機との差は埋まらず
33	5.96	42.4	4	1	7	中村真が優勝戦で39万舟を叩き出すも足は中の上
34	5.99	45.7	3	1	8	B級が乗っても動きは軽快で頼れる優秀機の一つ
35	5.32	37.8	2	0	7	いつも戦える足はあるけど上位機との対戦に壁が
36	5.04	35.2	2	0	6	実力者が乗ると優出するがベースは中堅クラスで
37	4.60	25.0	0	0	6	いいとは言えないが乗り手にも恵まれてなくて…
38	5.87	39.4	2	1	7	夏場の方が良かったが冬場でも水準は十分にある
39	5.15	38.5	4	1	6	岩瀬裕亮準V、黒野元基Vも低勝率節で過信禁物

モーター No.	勝率	2連率	優出	優勝	パワー	近況
40	5.97	42.5	2	0	8	元々悪くなかったが真冬に突入してグッと上向き
41	4.88	27.2	1	1	6	11月の濱野谷憲吾がVもその後は快音がなくて…
43	5.49	38.7	2	0	6	悪いジャッジではないが中堅クラスの域を出ない
45	3.69	17.1	0	0	4	初下ろしの吉川元浩から誰一人予選突破がなくて
46	4.90	29.2	2	0	6	時折いい時はあるが低勝率節で通用しているだけ
47	4.32	23.0	1	0	5	A級レーサーが7割も乗ってこのアベレージでは
48	4.98	31.0	1	0	6	低勝率節なら通用するが上位戦だと苦戦が目立つ
49	5.38	36.7	3	0	7	今年に入って5節で3優出。しかも全て舟券絡み
50	4.43	26.6	0	0	5	上位機節では明らかに伸び負ける。工夫が必要で
51	4.45	25.0	1	0	6	河合佑樹はテクニック一本で優出したが気配劣勢
52	5.26	32.0	2	0	6	平本真之は技術で通用も上位陣との差は明らかで
53	4.80	28.7	1	0	6	少し上向く時があっても長続きせず並レベルで…
54	5.85	43.5	4	0	8	基本的にはいいエンジンだがアレって思う場面も
55	5.14	38.2	1	0	6	悪くはないがA1が乗っても上位には仕上がらず
56	5.15	30.2	2	0	6	ターン回りは悪くないが伸びに関しては苦戦傾向
57	5.14	35.7	2	0	6	出足寄りに調整をすると、たま～にいい時がある
58	5.89	39.5	4	0	7	方向性が定まらずジャッジが難しいが悪くはない
59	5.85	44.4	1	1	6	今井美亜が久々Vもその後は中堅の域を出なくて

モーター No.	勝率	2連率	優出	優勝	パワー	近況
60	6.30	45.1	3	0	7	回り足はいいだけに、どれだけ伸びが付くかカギ
61	5.16	34.6	2	0	7	初下ろしから雰囲気はあったがここ2節がひと息
62	4.68	26.8	1	0	6	低勝率機節でも若干分が悪く普通になれば十分か
63	5.52	40.9	3	0	7	回り足関係は上位機シリーズでも十分に通用する
64	6.03	42.2	3	0	6	ずっと悪くなかったがGⅢから雲行き怪しくなり
65	5.10	32.0	1	0	6	お盆の前田滉は節イチだったがその後は中堅の域
66	4.13	23.0	0	0	6	下位級ではないがパツとした気配は一度もなくて
67	4.52	20.4	1	1	5	毒島誠が貫禄でVも他は誰一人として出ていない
68	5.45	34.9	3	2	7	1月に都築正治、島村隆幸が連続Vと上昇気流だ
69	4.53	20.0	0	0	5	低勝率機節ばかり渡り歩いているが数字は平行線
70	5.48	36.0	0	0	6	数字のパワーはなく優出がゼロなのもうなずける
71	4.61	25.2	1	0	5	大場恒季の優出は立派だったが他は軒並み苦戦で
72	5.47	37.9	3	1	8	プロペラの特徴が表れるがシビアな調整が必要で
73	4.08	24.1	0	0	5	A1が乗ってもパツとせず期待するのは難しくて
74	4.56	19.7	0	0	5	エンジン評価⑤の中では、まだまともな方だが…
75	4.54	22.8	0	0	5	上位機が相手だと歯が立たず普通はなさそうで…
76	5.81	41.7	3	2	8	重木輝彦、小野達哉が共に1位通過からVロード
77	5.97	46.1	4	2	8	周年の平本真之と正月の前田滉がVで実績はNo.1